



「家庭」はすべての教育の出発点

校長 西田 浩人

今年も残すところわずかとなりました。もうすぐ「令和6年」が終わり、新しい年を迎えます。子どもたちにも気持ちを新たに「令和7年」を迎えてほしいと願っています。

学校に長年勤務し、多くの子どものに接して、つくづく感じるがあります。それは、「学校がいくら頑張っても家庭には敵わない」ということです。「学校」が子どもの教育に関わる中心的な場所であることは間違いありません。しかし、教育の原点は「家庭」であり、「家庭」はすべての教育の出発点です。家庭教育について、とてもわかりやすくまとめられている文部科学省発行の資料がホームページに掲載してあります。ほんの少し紹介します。

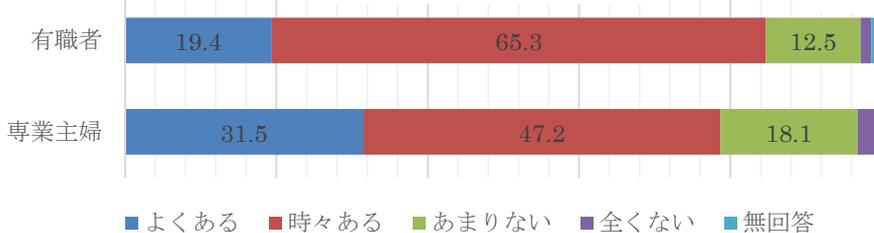
子どもたちの一番の願い、それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を親として真剣に受け止めたいものです。

育児にイライラする母親の割合

何となくイライラする

(%)



資料には、子どもだけでなく、子育てをする自分を大切にしなければならないことにも触れています。

ほかにも参考になる記載がありますので、「見出し」だけを紹介します。

☆ 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。

☆ 子育ては母親の仕事、そう思っているお父さんは要注意。

☆ 話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない。

☆ 前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。

☆ あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる。



※ 資料に興味のある方は https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/04042001/c-02.pdf へ
年が明けても3月まで、八雲小学校は「子どもも 大人も ここからチャレンジ」を合言葉に教育活動を進めてまいります。変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

2年 生活科 お店屋さん開店！

～ お客さんは1年生 ～

2年生の生活科の授業「うごくうごくわたしのおもちや」の学習の一環で、自分たちで作ったおもちゃを使ってお店屋さんを開きました。お客さんは1年生。みんな張り切って景品を作ったり、実際にやってみて動きを改善したりなど試行錯誤をしながら迎えた当日。お店の呼び込みやルールを1年生にわかりやすく説明するなど、賑わいをみせていました。お客さんも店員さんも笑顔であふれていました。



中休みの過ごし方 ～委員会が精力的に活動中！～

11月から、体育委員会による「八小アスレチック」が設置されています。多目的室がアスレチックコーナーに様変わり。毎日100人以上の子供が利用しています。また、美化委員会は「ピカピカデー」を作って、1年生と6年生と一緒に多目的室前の廊下の雑巾がけをする日を作って活動しました。

学校のために何ができることはないのかを考えて行動に移しています。人に言われてからではなく、自分たちで考えて、やってみる。そんな動きが少しずつ見えてきました。これからどんな活動が出てくるのか、楽しみです。



令和6年度

読書感想文・感想画コンクール受賞者

<読書感想文部門>

【鶴田知也賞】

2年 ○○○○ 『○○○○』

【最優秀賞】

5年 ○○○○ 『○○○○』

<読書感想画部門>

【最優秀賞】

3年 ○○○○ 『○○○○』

【優秀賞】

3年 ○○○○ 『○○○○』

4年 ○○○○ 『○○○○』

5年 ○○○○ 『○○○○』

5年 ○○○○ 『○○○○』

おめでとうございます！

3年 Google PC 教室 開講

～レベルアップを目指して～

3年生を対象に Google PC 教室が行われました。Google から講師を招いて、アプリの使い方や検索するときのポイントなど、実践を通して学びました。検索の仕方などのポイントを教わり、これから活用できるスキルを身に付けることができました。



先生方の研修

～ 一人一授業をしました ～

本校の研究主題「教師が変われば子どもも変わる」の実現に向けて、先生方が授業を公開しています。これは、担任だけではなく授業を受け持っている専科教員も含めて少人数のグループを作り、授業を公開しています。子どもたちにとって授業が「わかる」「できる」ための授業を考えた実践をしています。授業後には、研修会を開き、良かった点や改善点を考えます。「大人もここからチャレンジ」です。



1月行事予定

QRコードでご覧
ください。

